

インフルエンザ対策強化にご協力をお願いします



院内でインフルエンザの流行を起さないため、【2018年12月10日～2019年3月末まで】の間、下記のとおりインフルエンザ対策強化を実施いたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(ただし、対策強化期間は流行状況により変更する場合があります)

■入院(予定)患者さまへの対策

⇒対策期間中に入院を予定されている方は、入院前にインフルエンザワクチン接種をお願いいたします
⇒入院中の外出・外泊は原則禁止いたします

■(患者さまのご家族を含む)面会者への対策

⇒熱・咳・下痢・嘔吐などの症状がある場合、面会はできません。また、中学生以下のお子さまの面会は原則お断りします
⇒病棟へ立ち入る前に、毎回スタッフが健康状態の確認をさせていただきます。病棟に入る際は、手を消毒し、マスクを着用ください

リハビリ市民講座

テーマ:認知症について

12月22日(土)午後1時(12時半開場)から亀田クリニック5階リハビリセンター内研修室にてリハビリ市民講座を開催いたします。

今回は「認知症」をテーマに、亀田リハビリテーション病院の井合茂夫院長を講師に、認知症の原因となる病気や認知症の「早期発見・予防」についてお話いたします。興味をお持ちの方は、どうぞご参加ください。(参加費無料、定員50名(当日先着順))



年末年始の診療案内

亀田クリニックの一般外来診療は、年内は12月29日(土)まで、新年は1月4日(金)からとなります。

《お薬切れにご注意ください》

年末年始の一般外来休診期間中は、クリニック薬局もお休みさせていただきます。慢性疾患等でご療養中の方は、年末年始の一般外来休診期間中にお薬切れが生じないように、必要な分のお薬をあらかじめ受け取ることができます。担当医と相談の上、忘れずにご準備ください。

《歯科センター 年末年始もオープン》

クリニック歯科センターでは、年末年始も急患対応にて診療いたします。ただし、12月30日(日)は休診いたします。同期間中、診療を希望される場合は必ず事前に歯科センター受付(☎04-7099-1118、午前10時～午後4時)まで連絡をお願いいたします。

便失禁に対する無料電話相談

便失禁でお悩みの方に、治療法を含む適切な情報を提携する目的で、毎月、専門医や皮膚・排泄ケア認定看護師による無料電話相談を下記のとおり実施しています。

■日時:12月12日(水)・26日(水) 14:00～16:00

■電話番号:04-7099-1206(直通)

bayfm「MEDICAL UPDATES」

ラジオ バイエフエムの午後のワイド番組「it!!(イット)」では、毎週火曜日午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナー(約10分)が好評放送中です。

12月は泌尿器科・腎移植科 医長の越智敦彦医師が出演し、腎臓の病気や治療についてご紹介いたします。ぜひ、お聴きください。

クリスマス イベント情報

☆コンサート情報☆

「亀田スタッフによるクリスマスコンサート」
12/15(土) 15:00～ 亀田総合病院Kタワー1階ロビー
「歌とピアノのコンサート」
12/22(土) 11:00～ 亀田総合病院Kタワー1階ロビー
(歌:小川えみ様、ピアノ:日下文葉様)

☆イベント情報☆

12月25日(火)、よい子にプレゼントを持ってサンタクロースが当院にやってきました。希望者はサンタさんと記念撮影ができますので、どうぞカメラなどご持参ください。

■10:00～10:45 亀田クリニック1階ロビー

■13:00～13:30 亀田総合病院Kタワー1階ロビー





第6話 便失禁の治療について

はじめに

今回は日常生活へ影響がでる「便もれ」の治療についてお話しします。ここ数年で新しい治療方法がたくさん出てきています。まずは、簡単に始められる便の硬さの調節やトレーニングからご紹介します。

便の硬さを正常化

便失禁を訴える多くの方はやわらかい便がもれるのではないのでしょうか？ 便の硬さを固形にするだけで失禁症状が改善していきます。健康のためと牛乳などの乳製品や果物を多く摂っていると便がゆるくなります。また便をちょうど良い硬さにするセンイを含んでいる米飯を減らしていてもゆるくなります。当院で行う管理栄養士による**食事指導**を受けることで症状が良くなる場合があります。また**便をまとめる働きの薬**(ポリカルボフィルカルシウム)、**下痢を抑える薬**(ロペラミドなど)を飲むことによっても便が固形化し、便失禁が改善します。

トレーニングをする

骨盤底筋体操は産後の尿もれ対策でよく聞く言葉ですが、便もれにも行われます。時に「便の我慢が上手くできない」「上手く肛門がしめられない」と感じる人へは肛門の収縮をモニターに表示してトレーニングを行う**バイオフィードバック療法**という治療法もあります。

それでもダメなら

多くの方は上記の方法で便失禁は改善しますが、残

念ながら効果のない方にもまだまだ方法はあります。**アナルプラグ**(図1)はお尻の栓です。気になる外出の時だけお尻に入れて出かけます。**経肛門的洗腸療法**(図2)は毎日または1日おきに肛門から水を入れて便を強制的に洗い出す方法です。脊髄損傷など神経の障害による便失禁に対して有効です。**仙骨神経刺激療法**(図3)は排便に関わる仙骨神経の近くにリードと呼ばれるやわらかい電線を挿入し、お尻近くに埋め込んだペースメーカーのような機械から常時刺激を与えることで便失禁が抑えられる方法です。自身でやるのが少ないのがメリットです。直腸脱などの直腸の異常が原因の失禁には直腸を固定する**直腸固定術**が有効です。



図1 アナルプラグ

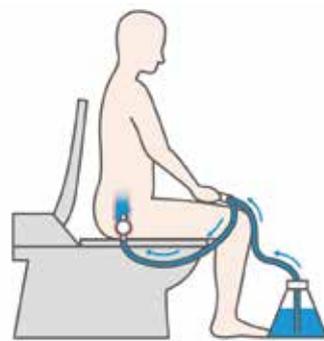


図2 経肛門的洗腸療法



図3 仙骨神経刺激療法

最後に

人それぞれ便失禁の原因や状態が違うため、治療法も異なります。まずは専門医を受診して自身にあった治療法を見つけていきましょう！

医師紹介 竹 研 人

たけばやし けんと 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①脊椎脊髄外科(部長代理)
- ②脊椎脊髄外科, 脳神経外科
- ③子育て, 野球
- ④外来診療から入院治療まで温かみのある医療を提供します

